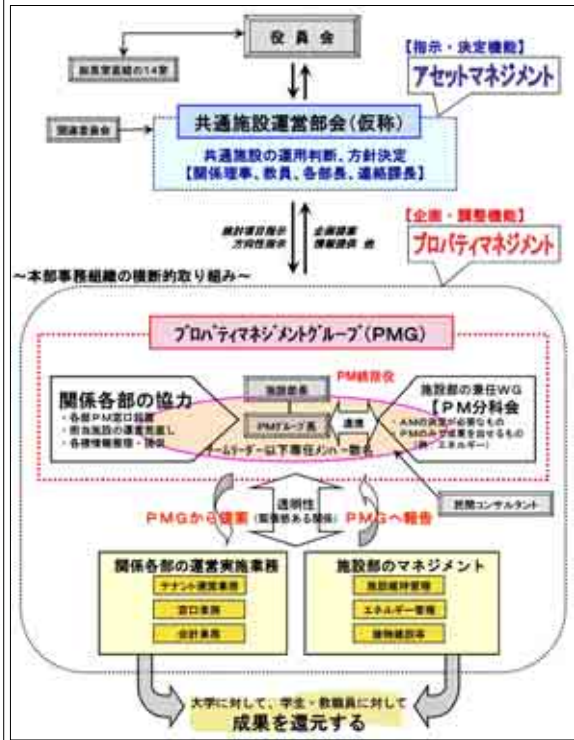
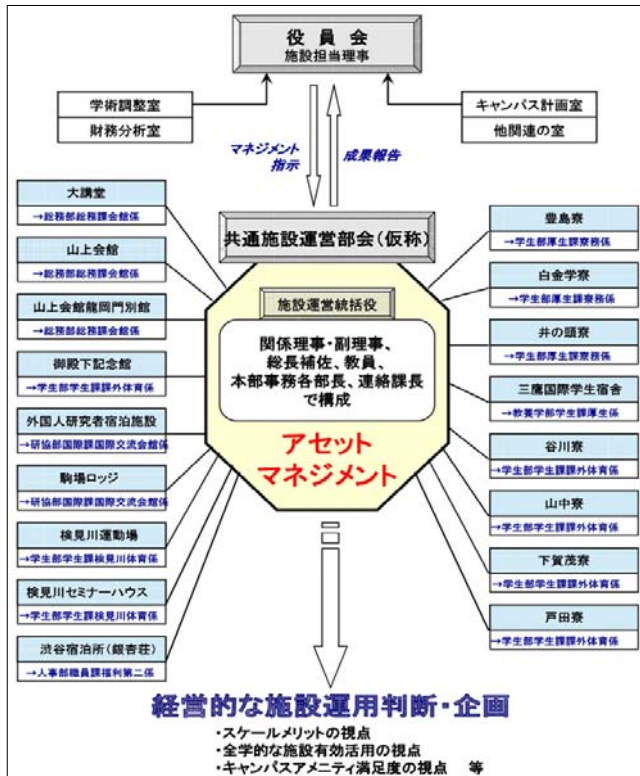


プロパティマネジメントの発想による全学共通施設の管理一元化 【東京大学】

- 全学共通施設(17施設、5課管理)の施設維持管理業務を本部施設部に一元化
- 運営コストの削減、維持管理水準の向上を目指す
- 導入にあたり施設部にプロパティマネジメントグループを設置し、専任者を配置



エレベータ保守点検契約の見直しによる経費縮減 【名古屋大学】

- 部局ごとに契約していたエレベータの保守契約を、平成17年度より施設管理部に一元化
- 製造所ごとの一括契約に変更するとともに、遠隔監視を導入し保全業務を合理化
- 併せて、従来の単年度契約から3年契約に変更
- 以上により年間約1,000万円、約11%のコスト縮減を達成

平成16年度

製造者	台数	担当部局	契約期間
A社	15台	環境学研究所	年間
B社	10台	情報文化学部	年間
C社	58台	法学部	年間
D社	13台	医学部	年間
E社	5台		年間
F社	3台	農学部	年間
G社	2台	工学部	年間
H社	2台		年間
計8社	108台	6部局	-

平成17年度

製造者	台数	担当部局	契約期間
A社	18台	製造者別に 施設管理部が 一括契約	3年契約
B社	10台		
C社	57台		
D社	14台		
E社	5台		
F社	3台		
G社	2台		
H社	3台		
計8社	112台	-	-

4台増加にもかかわらず、年間約1,000万円、約11%の縮減となった。